

船舶事故調査報告書

平成25年4月18日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	操船者死亡
発生日時	平成24年9月9日 16時37分
発生場所	埼玉県寄居町所在の荒川大橋下流約50mの荒川 寄居町所在の桜沢三等三角点から真方位220° 370m付近 (概位 北緯36° 07.2' 東経139° 12.8')
事故調査の経過	平成24年9月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての操船者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	カヌー（船名なし）、総トン数なし なし、個人所有 不詳、布 機関なし、不詳
乗組員等に関する情報	操船者 男性 36歳 乗船者A ₁ 女性 6歳 乗船者A ₂ 男性 4歳
死傷者等	死亡 1人（操船者）
損傷	なし
事故の経過	本船は、操船者、乗船者A ₁ 及び乗船者A ₂ が乗り、荒川大橋下流約50mの荒川において、平成24年9月9日16時37分ごろ転覆して全員が落水した。 操船者は、乗船者A ₁ を救助し、友人の乗ったカヌーに託した後、行方不明となり、後に川底から発見されたが、搬送された病院で死亡が確認され、死因は溺水と検案された。 乗船者A ₂ は、友人の乗ったカヌーに救助された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南東、風力 2
その他の事項	操船者及び乗船者2人は、救命胴衣を着用していなかった。 本件事故発生場所の川幅は、約35mで水深約2mであり、川の流れは、緩やかであった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与	不明 不明

<p>気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>操船者の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、荒川大橋下流約50mの荒川において、転覆したことから、操船者及び乗船者2人が落水し、操船者が、乗船者A₁を救助後、溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、荒川大橋下流約50mの荒川において、転覆したため、発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命胴衣を着用すること。